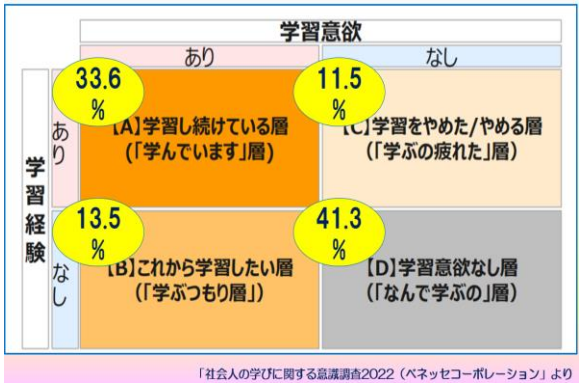
～ 令和６年度　第３学期始業式「校長式辞」 ～

皆さん、おはようございます。久しぶりの登校ですね。今日は第３学期の始業式、そして、新たな年のスタートです。今年もよろしくお願いします。みんなで新たな気持ちで頑張っていきましょう。ところで、今年は巳年です。さらに、十二支と十干とを組み合わせると、今年は「乙巳（きのと・み）」の年だそうですね。「乙」は「種子が芽を出す状態、柔軟性や協調性を表す、周囲との調和を保ちながら成長する様子を表す」とのこと。また、「巳」のヘビは、古来より「豊穣や金運を司る神様として祀られる、脱皮し成長する姿から不老長寿・再生の象徴である」と言われています。したがって、「乙巳」である今年は、一高生の皆さんにとって成長・結実の年になると私は期待しています。これまでの努力が実を結ぶ年になりますので、勉強、部活、進路希望など皆さんの願いを成就させ叶えてほしいと願っています。

さて、皆さんの成長・結実に向けて、私が繰り返し皆さんにお願いしていることって覚えているでしょうか？ それは「学び続けようとする心」をずっと持ち続けるということです。今までの始業式や終業式、また「進路の手引き」の巻頭言においても、繰り返し皆さんにお願いしてきています。学んだ結果として「学力が身に付く、成績が向上する」ことも素晴らしいことなのですが、それ以上に大切なことは、学ぼうとする意欲や気持ちを失わないことだと思っています。一高生の皆さんには、生涯を通して学び続ける、スキルアップを目指す、知識・技術をアップデートする…などに取り組んでほしいと願っています

そこで私が気になったのは、今の大人たちの「学びの姿勢」ってどうなのだろう？ということです。果たして今の大人は、皆さんのお手本になっているのだろうか…？ 実は、ベネッセコーポレーションが、2022 年３月、全国の 18 歳～64 歳（学生を除く）の男女 35,508 人へのインターネットによるアンケート調査結果より、社会人になってからの「学習経験の有無」と「学習意欲の有無」について分析・考察した「社会人の学びに関する意識調査 2022」が公表されていますので皆さんにも紹介します。



図を見てください。社会人になってからの「学習経験」「学習意欲」ともに「あり」という人は 33.6%、ともに「なし」という人は 41.3%でした。年代別では、若い年代は比較的「学習意欲あり」の割合が高く、職業別では、正社員と答えた人が「学習意欲あり」の割合が高いという結果でした。また、仕事に対する意識として「特定の分野の専門性を磨きたい」「仕事を通して成長し続けたい」等と回答した割合は、「学習意欲あり」の方が「なし」と回答した人より 30 ポイントほど高い結果でした。

このように、学ぶ意欲を持ち続けるか否かは、大人になった時の在り方生き方や仕事に対する意識に大きな影響を与えているのではないかと思われます。皆さんは大人になった時「どんな自分でありたいか？」を、この新年を機にちょっと考えてほしいなと思います。私は、何度も申し上げているとおり、皆さんには「生涯を通して学ぼうとする心と姿勢」を持ち続けてほしいと願っています。

最後に、大人になってからも学び続けるためのポイントとして、2021 年 12 月「BILANC vol.26 人生 100 年時代を豊かに過ごす!!大人のための『勉強法』」「GLOBIS 学び放題」事業リーダー鳥潟幸志氏からのアドバイスを紹介します。

①WHY…「こんな自分になりたい」からスタートして、「なぜ学ぶのか？」という内発的な目的をもつ
②WHAT…新しいものに好奇心を持ち、失敗を恐れず手を伸ばす。「まずは、やってみよう！」から始める
②WHO…一緒に学べる仲間を持つ。学び続けるのは大変なので、人とのつながりは大切な要素
④WHEN…スタートを先延ばししない。「やる！」と決めたら「すぐにやる」、または「いつ始めるか？」を具体的に決める
⑤HOW…目標や、その達成期限を定める。短期・中期・長期の目標を持ち、具体的に言語化してみる

では、今日のお話しは以上になります。一高生の皆さんには、学び続ける心・姿勢を、新年を機にリマインドしてほしいと思い、このようなお話をしました。これで校長式辞を終了します。